

平成 23 年 6 月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成 22 年 11 月 15 日

会 社 名 株式会社アメニティ

グリーンシート銘柄

コード番号 2188

本社所在都道府県 神奈川県

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 山戸 里志

問い合わせ先 責任者役職名 取締役社長室長 森田 利香

TEL045-371-7676

1. 平成23年6月期第1四半期の業績(平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所用の会計上の修正を行っておりません。

3. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
23年第1四半期	176,866	(△16.4)	4,256	(△80.9)	2,628	(△87.6)
22年第1四半期	211,456	(2.6)	22,327	(85.9)	21,121	(91.4)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
23年第1四半期	26,297	(136.5)	12,340 44	— —	17.4	0.4	1.5
22年第1四半期	11,119	(0.8)	5,434 96	— —	9.1	3.2	10.0

(注) ①持分法投資損益 23年第1四半期 — 千円 22年第1四半期 — 千円

②期中平均株式数 23年第1四半期 2,131 株 22年第1四半期 2,046 株

③会計処理の方法の変更 有・~~無~~

④売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

⑤潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、当社株式は非上場であり、期中平均株価の把握が困難なため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	千円		千円		%	円 銭	
23年第1四半期	689,745		163,007		23.6	74,616	15
22年第1四半期	688,357		125,053		18.2	59,165	89

(注) 期末発行済株式数 23年第1四半期 普通株式 2,131株 22年第1四半期 普通株式 2,046株
甲種株式 157株 甲種株式 157株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
23年第1四半期	36,681	△6,662	△30,322	121,186
22年第1四半期	△6,195	△11,324	32,355	87,746

2. 平成23年6月期の業績予想(平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金(円)				
				第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	年間
通 期	千円 900,540	千円 99,949	千円 71,741	—	—	—	0	0

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)33,665円42銭

第 22 期 第 1 四半期報告書

(平成 22 年 7 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号)	株式会社アメニティ
英文名(英文商号)	AMENITY CO., LTD.
コード番号	2188
代表者の役職氏名	代表取締役社長 山戸 里志
本店の所在の場所	神奈川県横浜市神奈川区羽沢町 685
電話番号	045-371-7676
連絡者	取締役社長室長 森田 利香

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当期累計	前年同期累計
	第 22 期 第 1 四半期 自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	自平成 21 年 7 月 1 日 至平成 21 年 9 月 30 日
売 上 高	176,866	176,866	211,456
売 上 原 価	84,493	84,493	98,218
売 上 総 利 益	92,372	92,372	113,238
販売費及び一般管理費	88,115	88,115	90,911
営 業 利 益	4,256	4,256	22,327
営 業 外 収 益	440	440	579
営 業 外 費 用	2,069	2,069	1,784
経 常 利 益	2,628	2,628	21,121
特 別 利 益	23,671	23,671	-
特 別 損 失	-	-	10,000
税引前四半期(当期)純利益	26,300	26,300	11,121
法人税、住民税及び事業税	2	2	1
四半期(当期)純利益	26,297	26,297	11,119

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	当期累計	前年同期累計
	第 22 期 第 1 四半期 自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	自平成 21 年 7 月 1 日 至平成 21 年 9 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	2,131 株	2,131 株	2,046 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	12,340 円 44 銭	12,340 円 44 銭	5,434 円 96 銭
潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	－円 －銭	－円 －銭	－円 －銭

※1. 潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 は、当 社 株 式 は 非 上 場 で あり、期 中 平 均 株 価 の 把 握 が 困 難 な た め、記 載 し て お り ま せ ン。

2. 期 中 平 均 株 式 数 の 算 定 に は 甲 種 株 式 157 株 は 含 ま れ て お り ま せ ン。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 22 期 第 1 四半期 自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	当期累計 自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日	前年同期累計 自平成 21 年 7 月 1 日 至平成 21 年 9 月 30 日
直営事業	83,008	83,008	77,980
ネットワーク事業	58,124	58,124	64,149
代行事業	34,054	34,054	33,000
スイット事業	1,679	1,679	36,326
合 計	176,866	176,866	211,456

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目 期 別	第 21 期末 (平成 22 年 6 月 30 日現在)	第 22 期 第 1 四半期 (平成 22 年 9 月 30 日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	121,489	121,186
受取手形	7,165	6,932
売掛金	101,060	94,600
リース投資資産	22,124	21,331
商品	81,921	83,036
原材料	4,930	7,723
貯蔵品	1,434	1,351
短期貸付金	2,126	1,866
その他	5,079	3,254
貸倒引当金	△ 1,120	△ 1,120
流動資産合計	346,210	340,163
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,842	66,795
工具器具備品	420	384
土地	133,167	133,167
リース資産	1,598	1,514
有形固定資産合計	203,029	201,861
無形固定資産		
電話加入権	242	242
特許権	376	364
ソフトウェア	20,851	20,728
のれん	3,989	3,677
無形固定資産合計	25,459	25,012
投資その他の資産		
投資有価証券	7,057	7,657
関係会社株式	9,633	9,633
出資金	20	20
差入保証金	9,002	9,002
保険積立金	88,800	92,722
その他	3,747	3,672
投資その他資産合計	118,260	122,707
固定資産合計	346,749	349,581
資産合計	692,960	689,745

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	
	第 21 期末 (平成 22 年 6 月 30 日現在)	第 22 期 第 1 四半期 (平成 22 年 9 月 30 日現在)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形	12,768	13,724
買掛金	44,764	49,170
1年以内返済予定長期借入金	109,444	81,778
未払金	16,522	16,382
未払費用	3,649	2,462
未払法人税等	1,545	—
未払消費税等	3,759	—
前受金	27,100	25,434
その他	4,484	8,429
流動負債合計	224,038	197,382
固定負債		
長期借入金	293,225	293,225
営業保証預り金	33,621	33,421
金利スワップ負債	249	249
リース債務	1,678	1,590
リース債務未払金	805	762
繰延税金負債	106	106
固定負債合計	329,686	329,355
負債合計	553,725	526,738
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	62,105	62,105
資本剰余金		
資本準備金	53,060	53,060
資本剰余金合計	53,060	53,060
利益剰余金		
利益準備金	775	775
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	23,142	46,914
利益剰余金合計	23,917	47,689
株主資本合計	139,083	162,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	151	151
評価・換算差額等合計	151	151
純資産合計	139,234	163,007
負債・純資産合計	692,960	689,745

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	
	第 21 期末 (平成 22 年 6 月 30 日現在)	第 22 期 第 1 四半期 (平成 22 年 9 月 30 日現在)
発行済株式総数	2,131 株	2,131 株
1 株当たり純資産額	62,654 円 90 銭	74,616 円 15 銭

※1株当たり純資産額は、甲種株式の発行価格を純資産額から控除し、上記発行済株式総数には甲種株式会社アメニティ

株式 157 株を含めず算出しております。なお、平成 20 年 12 月 12 日付けの減資を考慮し、第 22 期第 1 四半期においては、減資後の資本金及び資本剰余金のうち甲種株式に関連する金額を、第 21 期末においては、減資後の資本金及び資本剰余金のうち甲種株式に係る金額並びに当該会計期間に係る剰余金の配当であって甲種株主に関連する金額を純資産額から控除して算出しております。

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 22 年 7 月 1 日 至 平成 22 年 9 月 30 日）

（単位：千円）

項目	株主資本					株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金				その他 有価 証券 評価 差額金	評価換算 差額等 合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計				
				繰越利益 剰余金					
平成 22 年 6 月 30 日 残高	62,105	53,060	775	23,142	23,917	139,083	151	151	139,234
第 1 四半期中の変動額									
剰余金の配当	—	—	—	△2,525	△2,525	△2,525	—	—	△2,525
四半期純利益	—	—	—	26,297	26,297	26,297	—	—	26,297
第 1 四半期中の変動額合計	—	—	—	23,772	23,772	23,772	—	—	23,772
平成 22 年 9 月 30 日 残高	62,105	53,060	775	46,914	47,689	162,855	151	151	163,007

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に相当する金額を予定計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 法人税、住民税及び事業税の計上は、支払額を計上しております。
3. 消費税等の会計処理 仮受消費税と仮払消費税の差額を、流動負債の「その他」に計上しております。
4. 投資有価証券 投資有価証券については、時価評価しておりません。
5. 金利スワップ・繰延ヘッジ 金利スワップ・繰延ヘッジについては、時価評価しておりません。
6. 税効果 税効果は考慮しておりません。

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第22期第1四半期（平成22年7月1日から平成22年9月30日）の業績の概況

前期に引き続き、当四半期における景気は、依然として厳しい状況にあるといえます。そうした経済状況の中において、各企業も経費削減によって、コストの見直し、事業縮小などの厳しい環境が続いております。しかし、その一方で、トイレの環境改善が、顧客の集客力向上から売上向上への要因のひとつとなることなど、また、当社の予防型メンテナンスに基づいたトイレサービスが、現在の環境型社会に適用していることから、当社サービスへの需要が高まってきていると考えられます。

直営事業については、そうした潜在的な顧客ニーズの掘り起こしなど、地道な営業活動や顧客満足度の向上に傾注した結果、事業部門別売上高は、83,008千円（前期比106.4%）となりました。

ネットワーク事業については、直営事業同様に、地道な営業活動によって売上高が向上しているフランチャイズ加盟店がある一方、前期に発生した大型キャンセルによる売上高の減少の影響が残り、当四半期においては売上高の回復にまで至らなかったことが起因し、事業部門別売上高は58,124千円（前期比90.6%）となりました。

代行事業については、直営事業におけるチェーン本部企業との契約数の増加に起因し、事業部門別売上高は34,054千円（前期比103.2%）となりました。

スイット事業については、節水による経費削減の需要の高まりがあり、契約見込みの案件はありましたが、契約時期がずれ込んだため、事業部門別売上高は1,679千円（前期比4.6%）となりました。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高176,866千円（前期比83.6%）、営業利益4,256千円（前期比19.1%）、経常利益2,628千円（前期比12.4%）、四半期純利益26,297千円（前期比236.5%）となりました。

III 第22期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第21期（実績）	第22期（予想）
		自平成21年7月1日 至平成22年6月30日	自平成22年7月1日 至平成23年6月30日
売 上 高		813,965	900,540
営 業 利 益		26,340	70,938
経 常 利 益		21,554	99,949
当 期 純 利 益		4,347	71,741

IV 資金及び借入金の状態

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

科 目	期 別	第22期第1四半期
		自平成22年7月1日 至平成22年9月30日
現金及び預金の増減額		△303
現金及び預金の四半期首残高		121,489
現金及び預金の四半期末残高		121,186

（主な増減理由）税引前四半期純利益26,300千円、売上債権の減少7,485千円、仕入債務の増加5,362千円等による営業活動に伴う資金増加が36,681千円、ソフトウェアの取得2,400千円、保険積立金の増加3,921千円等による投資活動に伴う資金減少が6,662千円、長期借入金の返済27,666千円等による財務活動に伴う資金減少が30,322千円となり、当四半期の現金及び預金は303千円減少しました。

(2) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別 第 22 期第 1 四半期 自平成 22 年 7 月 1 日 至平成 22 年 9 月 30 日
長期借入金の増減額	△27,666
長期借入金の四半期首残高	402,669
長期借入金の四半期末残高	375,003

(主な増減理由) 約定返済による減少 27,666 千円です。

(注) 長期借入金は一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

V その他

該当事項はありません。